教え方のズレ KPI記録シート

週間記録 ／ 判断のポイントの伝え方と、理解不足による修正・手戻りを振り返る

現場名：＿＿＿＿＿＿＿＿　監督：＿＿＿＿＿＿　職長：＿＿＿＿＿＿

記録期間：　　年　　月　　日 ～　　月　　日

1　作業前に伝える判断のポイントと、確認方法を決める

対象の作業・教わる本人：

判断のポイント（何を見て・何を基準に・どう判断するか）：

伝える理由・具体例（なぜその判断が必要か）：

理解の確認方法（本人の言葉で、判断とその理由を説明してもらうなど）：

2　終業時に記録する

プロセスKPI：作業前に判断のポイントを伝え、相手の理解を確認できた回数

結果KPI：判断基準の理解不足による作業の修正・手戻り件数

日付	判断のポイントを伝え 理解を確認できた回数	判断基準の理解不足による 修正・手戻り件数	対象作業・理解が不足した点
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
合計	回	件	

※ 回数：作業前にポイントを伝え、理解を確認できた場合に1回。同じ作業への指導は1回まで。
※ 件数：判断基準の理解不足で修正・やり直しが必要になった作業を、判明日に1件。重複計上しません。
※ 理解不足かどうかは本人と確認。仕様変更など別の原因は除外し、該当なしは「0」、休日は「休」。

3　気づきと、次に教え方・理解の確認方法を見直すこと

人を責めるためではなく、自分の気づきや、判断のポイントの伝え方・理解の確認方法の見直しに使います。